



亀井博子

マリンバ・打楽器奏者／かめいひろこ

profile ●東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。第17回イタリア打楽器国際コンクールマリンバ部門第3位、第19回千葉県芸術文化新人賞受賞、第37回日本管打楽器コンクールマリンバ部門入賞、第27回日本打楽器協会主催打楽器新人演奏会にてグランプリ及び岩城賞受賞他受賞歴多数。音楽指導やTVドラマ「義母と娘のブルース」などの劇伴レコーディング参加など多方面で活動中。

包み込むような音を奏でる
マリンバの魅力伝えたい

マリンバ・打楽器奏者として、プロオーケストラなどでの演奏活動や指導を続ける亀井さんに、演奏や音楽への向き合い方やその魅力について伺いました。

マリンバを始めたきっかけと、音楽家として活動するまでの経緯を教えてください。

小学校3年生のときに、ドラムを習いたいという父とともにいった音楽教室でマリンバを見て、習うようになりました。エレクトーンや歌、ピアノなども小さい頃から習っていましたが、小学6年生からはマリンバ一本に絞り、ヤマハの教室と洗足学園音楽大学附属音楽教室に通いました。高校は音楽科、大学、大学院は音楽学部で、マリンバと打楽器を専攻し、在学中からお仕事として演奏活動を行っていました。

現在は、どんな活動を行っていますか？

コンサートやイベント、幼稚園や小学校でのマリンバ演奏とともに、プロオーケストラでの客演打楽器奏者としての活動を行っています。演奏活動を続けながら、音楽教育にも取り組んでいます。東京と千葉にある2つの幼稚園で音楽指導講師を務め、年間400名以上の子どもたちを指導するほか、マリンバ教室や、YouTube「亀井博子-マリびろチャンネル」を開設し、こちらでも音楽の楽しさを伝えています。



亀井さんの演奏には、どんな特徴がありますか？

「音楽を極める、マリンバや打楽器を極める」というのが学生時代からの私のテーマであり、「リズムや、音をもっとよくしたい、そのときの自分にできるいちばんの演奏をお客さんに届けたい」と思い活動しています。演奏するときは毎回、今日で最後かもしれないと思っています。そのせいもあってか、お客さんから、「あのときの演奏は素晴らしかった」と、何年も前の演奏を振り返って言われることがあります。人の記憶に残る演奏ができたと感じることは、本当にうれしいことです。

亀井さんが思うマリンバの魅力、音楽の魅力とは何ですか？

マリンバは、音が一番の魅力だと思っています。柔らかく響く独特の音で、温かみがあり包み込む様な音だねとよく言われます。マリンバを演奏していると、心が浄化されていくような感じがします。また、マリンバは、マレットと呼ばれる4本の撥（ばち）を使うことでメロディーとハーモニーを1人で奏でることができるので、「小さいオーケストラ」のようだとも思っています。

私にとって音楽とは、いい感情も悪い感情もすべて背負ってくれるものです。そして、言葉よりももっとたくさんのものを、さまざまな人に伝えられるものでもあります。マリンバと打楽器を続けることで、たくさんの人に出会い、自分自身が成長できました。これからまだまだ成長していきたいと思えるのも、マリンバと打楽器があるからです。

音楽家として目指すものと、今後チャレンジしたいことはありますか？

聴いてくれた人の心が、一秒でも心地よいものになればいいなと思いながら演奏を続けていき、また演奏を聴きたいと思ってもらえるような奏者になりたいです。そして、子どもたちにマリンバと打楽器の魅力や楽しさを伝えていきたいと思っていますので、今後は全国の小中学校などに出向いて、音楽を届けたいです。

ソロのイメージが強いマリンバですが、私は誰かと演奏するのが好きで、これまでも、ピアノはもちろんのこと、サクソフ、ヴァイオリン、うた、ハーディングフェーレなど、さまざまな楽器とコラボレーションしてきました。違う楽器と演奏することで、マリンバという楽器の表情が変わるのです。今後は、ほかの楽器や音楽以外のジャンルとのコラボの機会を増やし、自分とマリンバの可能性を広げていきたいと思っています。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

手や足、テーブル、フライパンなど身近なものを使って打楽器のように音を刻むことができるので、生活に取り入れてみると、毎日が楽しくなるかもしれません。音楽を気軽に楽しんでいただけたらと思います。マリンバという楽器を知らない人もたくさんいると思うのですが、この記事を読んで少しでも興味を持っていただけたらうれしいです。私の演奏はYouTubeで聴くこともできますが、やはり生の演奏とは全く違います。イオン稲毛店文化ホール5/21（日）14:00開演の「ワンコインコンサート Vol.110うた・打楽器・ピアノで楽しむ！～親子わくわくコンサート～※」に出演しますので、お時間があればぜひ聴きにいらしてください。※一般500円 小学生以下100円。3/2（木）よりチケット発売。詳しくは、千葉県文化振興財団043-221-2411へ